

地域とのつなぎ役に

小川地区在住。サンドブラスト工房を、ご夫妻で営んでいる。和弓さんが受注・デザイン・納品を担当、ご主人が製作という二人三脚で素敵な作品を作り出している。



陽だまり隊（陽だまり横丁プロジェクト）

池田和弓さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.11

四季文化館「みの〜れ」は、桜色から萌黄色に姿を変えた。大きなガラス窓から柔らかな日差しがたつぷり入るホワイエでは、『陽だまり横丁くまいにち ぼかぼかぶらっとありとく』がお客様を待っている。今月は、陽だまり隊自主企画として『はんどめいどま〜けつと』を開催中。命名者も含め、八名の住民プロジェクトメンバー「陽だまり隊」の一人、池田和弓さんに取材する。

企画 画 充 実 陽だまり隊

池田さんの活躍する「陽だまり隊」は結成2年目。ホワイエに陽がサンサンと差し込み、その陽だまりにたくさんの人がたまり、横に長いスペースでワイワイお茶飲みが出来そうな雰囲気。毎日の散歩コースにぶらりと立ち寄ってもらえたら：との願いが込められている。

①公募企画②自主企画の二つを組み合わせたながら年間ラインナップを企画しているが、年内はもうスケジュールがぎっしり詰まっている。

きた。「県内にはこのような住民参加型の施設が少ないので、もっともっとたくさんの人が参加し、利用してもえたら」「プロの人だけでなく色々な人が気軽に参加できるようにし、そのつなぎ役として陽だまり隊が活躍したい」と語る池田さん。また、「みの〜れに足を運ぶようになって感じたことは、『みの〜れ全体の暖かさやパワー』。ここに来た人は皆そんな風を感じ、何かしようという気になるのでは：」と笑顔で話す。陽だまり隊員として「今後、館内通路展示を企画する『ときめき美の小路（委員一四名）』のみなさんとのコラボ企画ができると楽しいかも。一月以降の陽だまり横丁出

展希望の方も募集しています」と話す。

池田さんは数々のフリーマーケットにサンドブラストの作品を出展しているが、「みの〜れのようなところがありません。また、みの〜れでいろんな企画を見たり体験したりしていることがヒントになり、『はんどめいどま〜けつと』の場所作りや企画を考えることが出来ました」という。

疲れたとき、何かを見つけたいとき、考え事をしたいとき、ちょっと立ち寄って「陽だまり横丁」で休んでいきませんか？きつと何か良いことが見つかるかも知れませんかよ。

（藤田佐知子）

※サンドブラスト：表面に砂などの研磨材を吹き付けて記念品の名入れ等を行い、作品とする